

今回事務局の不手際で訂正・追加の文章が多く発生しました。深くお詫びいたします。

訂正 1 ペ ジ 1月24日(土)10時～13時 2月1日(日)11時～12時

子どものための舞台公演

訂正 1 ペ ジ 2月7日(土)10時～13時 1月10日(土)14時～16時講座 ・絵本とお話

訂正 5 ペ ジ16行目 午前演奏 御前演奏

4ペ-ジ“子どもの夕べ2008“に追加 アジアヒ素ネットワ-クからのメッセ ジ

さっそく感想をお送りします。コメントには出てきていませんが、昔の火おこしを子供から大人までみんなでいっしょに体験してみる文化の継承や、小さい町なのだけど彼ら以外の外国の人たちも参加していたイベントにとっても興味があったようです。コンサートもとても癒されたと言っていました。しかし物語は意味が分からなかったが、何度も繰り返した言葉はなんだったのだ？と帰路で盛り上がっていました。

寒くなってきましたね。ちょうど2日間の寒波のときに土呂久にいました。幸運？にも寒すぎて雪を見ることもできました。みんな楽しんでいたようです。今週末から東京に行き、あともう少し講義を受ける予定です。

中国 ホアンさん

野の花館はとてもすばらしい訪問となった。すてきな演出で楽しめた。

インド チャウハンさん

日本の文化や生活を知るための文化交流はとても興味深いものだった。よい思い出となった。

ミャンマー カンさん

野の花館のイベントに参加してたくさんの友達ができた。このようなイベントに参加させてもらいうれしく思います。

バングラデシュ ホセインさん

とても興味深く楽しむことができた。

ネパール ボウデルさん

とても興味深く楽しむことができた。

ベトナム トウアンさん

とても興味深く楽しむことができた。

5 ページ“アイルランド音楽の夕べ”に追加

守安さんからのメッセージ

今年もまた、「野の花館」に帰ってきた。

2年も続けて、コンサートを開催していただいた、則松さんご夫妻、そして、助けていただいたスタッフの方たちには、ただただ心からの感謝の気持ちでいっぱいである。

今回、コンサートの前に、野の花館の床に寝転がって、しばし昼寝した。外から吹き込むそよ風が、とても心地よかった。

館の外を歩いている、帽子をかぶった、長髪で長いひげの、アイルランドの笛吹き、ショー・ライアンが、何だか、「妖精」のように見えた。

野の花館での出来事は、何だか、夢の中のことのような、不思議な暖かさとなつかしさに包まれている。

こういう場所が日本のどこかにあって、そして、そこで、いろんなステキな方たちに出会えたということは、本当にかげがえのないことなんだということを、旅から帰ってきて、改めて、かみしめている……コンサートにいらしていただいた、たくさんの方たちにも、心からのお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

守安 功

6 ページ“合わせ貝、貝桶、板絵「松尾春海」作品展に追加

ロンドンから

遠くに住んでいるのでなかなか野の花館の行事には参加できないのですが、今回とても素敵な作品展を拝見することができました。

松尾さんの作品は、やさしくて、とても上品で季節感あふれる、みていて幸せになるものばかりでした。

また一期一会コンサートでは琴や尺八の生演奏を聞くことが出来、素敵な作品の中で聞く演奏や歌はまた格別なものでした。手元にある蛤貝は一生の宝物です。

こんな機会を作ってください本当にありがとうございました。

則松真紀

埼玉から

合わせ貝に野の花が描かれた松尾春海さんの作品は、今回が初めての出会いでした。野の花館の古い柱や梁は、晴海さんの作品と昔からの知り合いだったかのような、はじめからたてものに作品が寄り添っていて、秋の野の花館にいつもとは違った彩りが違和感なく添えられていました。

良い時間が過ごせました。いつかお雛様の季節にも同じ場所で見たいと思いました。

ノリマツフミコ

感想をお寄せいただいた方々にも心よりお詫び申し上げます。

野の花館事務局、則松和恵